



第 41 号

調 布 市 文 化 協 会

調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

決意あらたに 故 佐藤憲正氏の思いとともに

調布市文化協会会長 高岡 宮子

佐藤憲正氏（映像協会）は、昭和五十七年から平成三年まで調布市文化協会役員を歴任し内六年間は副会長を勤められ、役員就任と同時に事務局体制の強化・事務局長配置や実技講座の開設、特に某出版会社編集部に在職された経験を生かし、文化協会広報誌「会報」創刊および内容の充実に勤められるなどの功績を残され、平成十五年五月二十六日・八十三才で亡くなられました。

その翌年貸金庫の解約時点で初めて遺言書が発見され、某法律事務所より『貴法人に対する文書が存在する』『現金を贈与する旨遺言している』の書類が届きました。

その文書の内容は（一部省略）

世は高齢化社会を迎え、高齢者は生きがいを求め生涯学習が盛んに行われるようになっていきます。それには文化活動を旺盛にし、市民のニーズにこたえる事が肝要と思われれます。その意味において現在実施されている「実技講座」などは時宜を得ており、最適なものの一つでありましょう。またさらなる文化施策も考えられましょう。しかしそうした活動を活発にするためには、先立つものが資金です。それには余りに乏しいのが現状のように思えてなりません。緊縮財政の中で市の補助金増額など望むべくもありません。そうしたことに思いをいたす一人として、私の命を終えた後、わずかな額ではございますが、贈物としてお届け

します。有効に活用していただければ本望です。この文書は亡くなる二年前に書かれ金庫に保管されていたもので「遺言公正証書」にもとづく、金五十万円とその文書が文化協会に届きました。この思いを大切に有効に活用することとして文化協会室に「パソコン一式」と新しく「電話・ファックス機」を購入し、長年の懸案事項「文化協会ホームページ設立」（今年度完了予定）に繋げることができました。

加盟二十二団体・種類の違う分野の文化を愛する人々が集い、「本協会は調布市の芸術・文化を振興し、広く市民の文化生活の向上に資する…」とした目的のもと、故佐藤憲正氏はコツコツと市民の力で積み上げた文化協会・『宝』を、絶えることなく発展するよう理想を掲げ、未来に繋げる努力を惜しまず、精力的に活動し、愛しく思えばこそ、亡くなる二年前にその思いを「遺言書」にしたためたものと感銘して止まない次第です。

その『文化協会ホームページ設立』は、故佐藤憲正氏の思いとともに、文化協会四十二年の集大成でもあり、調布市における「文化の宝箱」を開き市民とともに共有するものであります。

この四月の総会において一期二年の文化協会新役員体制も整い、各種事業が進められています。決意新たに行政・関係機関との信頼関係をさらに構築しつつ、未来に向かって邁進するのみです。

第42回定期総会開催される

調布市文化協会副会長 宮本 正章

2008(平成20)年度 調布市文化協会第42回定期総会

日時 2008年4月25日(金)18時～
場所 調布市文化会館たづくり12F大会議場
出席者 76人 欠席 12人
委任状 なし(構成員88人)
議長 坂本幹男氏(工芸美術協会)

第42回定期総会は標記の通り開催されました。

高岡会長からは空気を読める文化協会、空気を読める文化人になりましょう。そして、調布市文化協会は調布市には無くてはならない大切な団体であるとの認識のも

とでの、調布市交付金に感謝するとともに、その重い責任を果していきたいと思います。

来賓の長友市長からは調布市文化協会の活動に対して敬意と感謝が述べられ、新設のせんがわ劇場も大いに役立ててほしいとの祝辞がありました。また、来賓の広瀬市議会議長からも暖かい祝辞をいただきました。

議事では、議長に坂本幹男氏(工芸美術協会)を選出、書記に宇都宮靖彦氏(文化協会庶務)が指名されました。第1号議案・2007年度事業報告、第2号議案・2007年度一般会計決算報告、コミュニティサロン調布入間町収支

決算報告、会計監査報告があり、すべて承認されました。第3号議案・規約の一部改正については、役員等の任期(第9条)、経費(第

15条)、についての改正、運営細則の一部補足が説明され、質疑応答の後、満場一致で承認されました。第4号議案・文化協会役員の承認では、今年度が通常の任期満了に伴う人事の交代期にあたるため、理事会の推薦による会長および、2名の副会長が紹介され、全員一致で承認されました。続いて

退任役員の紹介、新任役員の紹介が行われ、退任の事務局担当理事および会計監査に対して花束贈呈が行われました。(新任役員は下表にある通りです。)

新会長の挨拶の後、第5号議案・08年度事業計画、第6号議案・08年度一般会計予算が示され、いずれも承認されました。

引き続き行われた懇親会では、親睦と友好を深めることが出来ました。

新しい役員体制になり慣れない点もありますが、最大限の努力を致します。一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

調布市文化協会役員

任期
平成二十一年三月三十一日まで

〔会長〕

高岡 宮子(フラワーデザイン協会)

〔副会長〕

吉井千香子(美術協会)
宮本 正章(美術協会)

〔事務局長〕

池野 潤治(アマチュア囲碁連盟)

〔会 計〕

加藤 弘子(民謡舞踊好友会)
山岸 直子(ハワイアンフラ協会)
門傳 良男(三曲協会)

〔庶務〕

奥平 恭子(音楽連盟)
岳野 勝治(奇術協会)
江口 勝子(茶華道連盟)

〔会計監査〕

海老澤 勇(歌謡同好会連盟)
大島 茂代(洋舞協会)

調布市文化協会加盟団体・代表者一覧		
加盟団体名	代表者	電話番号
調布市アマチュア囲碁連盟	丸茂 一	〇四二一五九二一四六九二
調布 映 像 協 会	吉田 正夫	〇三一三三〇〇一八九三〇
調布エスペラント会	山野 裕	〇四五一九六一一三三七八
調布市演劇協会	山根 久幸	〇四一四八二一三三七三
調布市音楽連盟	奥平 恭子	〇四一四八四一八九四四
調布市歌謡同好会連盟	齋藤 一正	〇四一四八五一二一四一
調布市奇術協会	岳野 勝治	〇四一四八五一三九五
調布市吟剣詩舞道連盟	連代 義明	〇四一四八二一八七八三
調布工芸美術協会	大山 雅子	〇四一四八二一八四二九
調布市茶華道連盟	五島 まつ子	〇四一四八四一〇三〇六
調布 三 曲 協 会	渡辺 泰子	〇三一三四八〇一〇八四五
調布市社交ダンス連盟	泉 梅信	〇三一三三〇〇一六六一三
調布 写 真 連 盟	前田 豊	〇四一四八四一三〇〇七
調布市将棋連盟	宇都宮 靖彦	〇四一四八二一三九五三
調布市書道連盟	小川 美代子	〇四一四八七一一三三八
調布市大正琴連盟	安部 妙子	〇四一四八二一三五〇〇
調布市ハワイアンフラ協会	富澤 登代子	〇四一四八二一一二九二
調布市美術協会	宮本 正章	〇四一四八六一七四二二
調布市フラワーデザイン協会	高部 フミ子	〇四一四八二一〇五九七
調布市民謡連盟	市川 徹	〇四一四八七七八〇八八
調布市民謡舞踊好友会	両角 秀子	〇四一四八二一六三三八三
調布 洋 舞 協 会	甲斐 浩	〇四二一五九一一三六〇二

《調布市長と語る文化懇談会》

日 時 平成20年6月30日(月) 18時

会 場 文化会館たづくり10F

出席者 文化協会役員理事 33名

テーマ 「調布市の文化活動の今後」

を条件と致しました。

冒頭、調布駅地下鉄化工事の進捗状況の質問に対して、市長から24年度中に完成予定である事、その結果完成すれば、18の踏切が無くなる事。駅前広場が市民の憩いの場であると同時に、複数が利用可能なイベント会場となる、南北あわせた広大な駅前広場が出現予定である事。その他周辺駅の開発も行われる予定とのお話があり、その後、名実共に「映画の街調布」をPRするためにも、市が後援して「常磐ハワイアン」のような映画が作れないか？美術協会は結成50周年を迎えるが、広い展示スペースが確保できない事、調布在住の著名な画家の作品を今から確保保存しておくためにも「調布市美術館」建設の夢を持ちたい。等々のご意見が続き、あっと云う間の2時間でした。



(岳野)

|| 研修・交流旅行 ||

岡崎文化協会との交流

調布市文化協会副会長

吉井 千香子

歴史と人情にあふれたロマン街道 愛知県「岡崎」。

徳川家康公出生の地としても知られる、城下町 岡崎市へ。

6月1日(日)～2日(月)、文化協会会員32名、調布市のバスで、研修交流旅行に向いました。

雨あがりのさわやかな緑の中、雪を頂く富士山を、遠く近くに眺めながら、予定通り渋滞もなく無事到着。

1時より岡崎公園内にある「巽閣」にて、岡崎文化協会と研修交流会を行いました。

岡崎文化協会は、昭和50年に設立、団体数一四七団体、三部会(美術部会・文化部会・芸能部会)で構成され、全て団体に加入されているとのこと。

その他に、文化協会に加入して

いない団体として、個人加入の団体が、それぞれ作られているようです。例えば、音楽家協会、美術協会等。

岡崎文化協会として一本化され



岡崎文化協会との交流会

ていない事情もいろいろあるようですが、行政側からのおしきせと一般市民側からの自発的な団体との折り合いのわるさもあるようです。

上も下もなく、一つの輪(和)を広げて、中身の濃い充実した文化を育てていきたいものです。

ちなみに、岡崎文化協会は、行政サイドの運営が中心となっているようです。例えば、(機関誌「岡崎文化」の一七〇頁からなる重さ、入賞者がずらりと並べられた頁)。

調布市文化協会のように、市民からの盛り上がりで組織され出来た文化協会との違いを感じさせられました。

それぞれの土地柄・事情、成り立ちによっても、文化協会のあり方に大きな違いがあるようです。

交流の後、岡崎公園の中の、岡崎城・三河武士のやかた家康館などを見学。

二日目は、岡崎城より西に八丁離れた地に、江戸時代から生産さ

れる、八丁味噌の工場を見学。松平家、徳川家の菩提寺の大樹寺、日本三大稲荷の一つとされる豊川稲荷を見学の後、予定より早く、無事調布に帰着しました。

お忙しい中、ご参加下さいました会員の皆様のご協力に心から感謝いたします。

ありがとうございました。



大樹寺参拝記念撮影

岡崎研修紀行

社交ダンス連盟

泉 梅信

六月一日岡崎研修旅行に出発する。夜来の雨があがつて晴天、川崎ICより東名高速にのる。日曜日なので車が少なく快適なバス旅行。富士山が奇麗に見えた。岡崎市内で昼食、一時から岡崎公園内の巽閣で岡崎文化協会との交流会を行う。恒例通り両会長の挨拶から自己紹介、両文化協会の概要の説明があり質疑応答が行われた。今までに何回も交流会に参加したがその中でも岡崎文化協会は確りした組織だと実感した。

岡崎市は人口約三十七万人、文化協会は昭和五十年創立で年間予算約七百万円、一三八団体(二万二千人)で美術部、文化部、芸能部の三部制、事務処理は市の文化国際課の四名が担当している由で調布市の、市と文化コミュニティ振興財団と文化協会の関係よりも

すつきりしていた。ただ美術部は別に美術協会という個人加入の団体があり、競合していて、これも調布市と良く似ていた。

終って岡崎城を見学、蒲郡温泉ホテル竹嶋での懇親会はとても盛り上がりあがつて時間オーバー。翌日は八丁味噌工場を見学、大樹寺(家康の菩提寺)に行く。桶狭間で敗れた家康が自害を計ったが住職にさとされて翻意した由を始めて知った。

その時の「欣求浄土」を旗印にして戦場を駆けぬけた由であるが秀吉の千成瓢箪程に有名にならなかった。豊川稲荷で見学と昼食後帰路についた。

末筆乍ら、会長を始め役員の皆様の御苦労に深謝して、紀行文を終ります。本当に楽しく、有意義な研修旅行でした。

研修交流初参加

ハワイアンフラ協会

林 礼子

今回訪れた岡崎は、愛知県の中央部に位置する人口三十七万人の都市であり、また、家康公の生誕の地としても有名です。

初日は昨日までの雨も、うその

ような晴天に恵まれ、岡崎へと向かいました。午後には、早速、岡崎文化協会との情報交換会に参加させていただき、その後、岡崎城の見学を通して、町の歴史を学ぶこととなりま

した。翌日は、豊川稲荷やロマン街道の散策を楽しませていただきました。

情報交換会において調布市が優れていると感じたのは、岡崎文化協会は全てを行政に委ねた組織であるのに対し、調布市文化協会は市民と行政が一体となった運営をしているということです。また、会場を確保するのに一年以上も待たなければならぬ場合があるという点では共通していて、これからの課題となるのではないのでしょうか。

会場では、お煎茶と和菓子によるおもてなしを受け、城下町の雰囲気を感じることができました。宿泊ホテルでの夜の宴は、カラオケ等で盛り上がり、旅の疲れも忘れてしまふほどでした。

研修交流旅行に初めて参加させていただきましたが、会長をはじめとする役員の皆様方のお心遣いのもと貴重な体験をすることができ大変感謝しております。



研修も無事に終えて

おめでとう!!
35周年記念行事の紹介

創立三十五周年に因んで

冒頭に際しまして平日頃当茶華道連盟のために「たづくり」南・北ギヤラーの会場を優先的に確保していただきますことを心より感謝申し上げます。

本年は当茶華道連盟創立三十五周年に当たりますので記念事業の一環といたしまして春のいけばな展と同時に十階の茶室に茶席を設けさせていただきます。

四月五日(土)、六日(日)に南・北ギヤラーのいけばな展で春の香りを満喫していただいております。茶室に移動、美味しいお抹茶とお菓子里に来場者の方々に堪能していただきます。

当日は桜満開のときで席中にもはなやか雰囲気の中にみなさまに

調布市茶華道連盟

代表 五島 まつ子

よろこんでいただけました。意義ある春のいけばな展とお茶会でした。ありがとうございます。

調布市茶華道連盟
創立 35周年記念
茶会
日時 4月5日(土) 11:00~15:00
席主 眞千家 嶋崎宗美
4月6日(日) 11:00~15:00
席主 眞千家 仲村宗静 梅田宗富
会場 調布市文化会館 たづくり 10階 茶室

調布市茶華道連盟
創立 35周年記念
第23回
春のいけばな展
平成20年

創立三十五周年記念式典及び第四十回工芸美術協会展

調布工芸美術協会

代表 大山 雅子



の作品一四七点を展示し、一八九名と多くの方々にご覧いただきました。初日には十二階大会議場にて式典と祝賀会を行い、長友市長、広瀬市議会議長、高岡文化協会会長より温かいご祝辞をいただき、百名近い方々に共に祝っていただく事が出来ました。

記念誌を発行し、工芸ならではの会員手作りの「ぐいのみ」を用意し、郷土芸能祭ばやしや、ハモニカ演奏と、和気あいあいの会となりました。特に心に残った事は、この行事を行うに当り、個々の会員が自分の担当を責任を持って行ってくれた事です。このまともりが、今後の会の発展につながると信じております。

多くの皆様に支えられ、今日を迎える事が出来た事を、心より感謝申し上げます。

本年五月、調布工芸美術協会創立三十五周年記念式典及び第四十回工芸美術協会展を行いました。五月十二日から十八日迄、南ギヤラーに於いて会員及び旧会員

実 技 講 座

デジカメ&ビデオ初級講座

調布映像協会 黒澤 眞

4月15日、16日の二日間デジカメ&ビデオの初級実技講座を開催しました。

昨今のデジタルカメラの普及は目覚ましく毎年この初級講座を開催していますが、実に大勢の人達が関心を持っていて今年も沢山の参加申し込みがありました。

最近のデジカメには色々な機能が加えられ、デジカメを買っていざ使おうと思つて取扱説明書を見ては何か色々書いてはありますが読むのは結構



大変だと云う人が多いのが実情です。

この講座ではそんな人達を対象にデジカメを買つた時、先づ最初にする事から始まつて、初めは不慣れな半押しでピントを合わせる方

法から人物・風景・夜景の撮り方等一通りの事は習得出来るのではと思いません。又今年もデジカメでの動画撮影を勉強したり、会場の外に出て簡単な撮影会も行いましたので更に理解が深まったと考えています。

初めてのマジックを終えて

調布市奇術協会 岳野 勝治

まずはこの実技講座

の講師である「比呂石裕プロ」の

デモストレーションに

参加者一同驚愕の目を見張ったり、

「やがては自分もこのようなマジックを演じることが出来る」という夢と期待から目を輝かせながら開始されて行きました。



のクリスマスツリーが上手に出来たり、トランプのエースが4枚とも出てきた時の歓声と、笑顔は普段の大人の顔からは想像も出来ませんし、老若男女の別なく本当に嬉しそうでした。また、講座の中で小学校の男の子と女の子が理解も早く、前回の復習もしてきて下さり皆んなの前で積極的に演じてくれたので、主催者や大人は大助かりすっかり人気者でした。

今回ご参加になつた方々の参加理由は、前から独学で勉強されていた方、これを機会にマジックに触れて見ようかと云う方々、色々でしたが「もう少し続けてほしい」と言うお声を聴きながら盛大な拍手で無事終了致しました。

このような実技講座の機会を与えて下さつた調布市文化協会、コミュニティ振興財団、調布市に感謝申し上げます。

フラ&

ゆるやかなタヒチアンダンス

調布市ハワイアンフラ協会 富澤 登美子

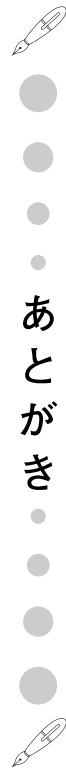
5月20日・21日の二日間、リハーサル室と創作室で実技講座を開かせて頂きました。両日共、昨夜来の大雨も午前中には上り、申込まれた全員の方がお一人の欠席もなく参加して下さいました。

準備体操から始まり、フラのベースリックへと進み、インストラクターのゆるやかなリズムのタヒチアンダンスを見学する頃には、皆さんの緊張も取れて、終りのタヒチのベースリックは参加者全員が笑顔いっぱい踊っていらつしゃいました。その姿を見て笑顔は本当に心の太陽である事を実感し安心致しました。

皆さん帰り際には、「とても身体が軽くなり、楽しかったです。」とおっしゃって頂き嬉しくなりました。このような実技講座が開催



出来たことを調布市文化協会の役員の皆様感謝申し上げます。



あとがき

このような作業は始めてのこととあって、何からなに迄先輩におまかせ、という事になってしまいました。次回は周りの方々にあまりご迷惑のかわらないような形で作業をして行きたいと存じます。

今回、皆さんが依頼原稿を速やかに出してくださった事に本当に感謝申し上げます。どれだけ助かったかわかりません。

ちょっと残念に感じている事は「市長と語る文化懇談会」の紹介記事で、調布市の人口はやがては頭打ちとなり、予想される税収の減少、さらなる高齢社会の中、どうやって文化活動を次世代に伝えていくのか等々についても触れたいと存じましたが、能力不足で出来ませんでした。

(岳野)

平成20年度調布市文化協会総会が滞りなく終り、新年度が順調に歩みだしております。

会報41号では、会長就任挨拶、両副会長による定期総会、研修旅行の報告記事、調布市長と語る文化懇談会報告、茶華道連盟及び工芸美術協会の創立35周年記念行事報告、映像協会、奇術協会、ハワイアンフラ協会による実技講座報告と、内容も豊富になりました。お忙しい中のご寄稿を誠にありがとうございました。どうぞございました。

今年度の会報作成は、庶務係の岳野・奥平が担当致します。協会内の行事報告を行って参りますが、皆様からの忌憚のないご感想ご意見をお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(奥平)